

ラージ合板 端材から再生家具など製作

マルダイ・SnetCグループ シズオカKAGUメッセに出展



SnetCグループのブース。左下がラージ合板端材を再生した家具

マルダイ（静岡県富士市、深沢裕一郎社長）ほかシズオカネットワークコミュニティ（SnetC）グループは、4月5日にツインメッセ静岡で開催された家具展「シズオカKAGUメッセ2008」に出展。ラージ合板の端材から製作したオーダーテーブルなど、環境に優しい素材をベースにした建築、インテリア関連製品を紹介した。

同グループはマルダイ家具部及び協力業者で構成され、今回はSNC、レスト、牧野工匠、ワン・ハンドの4社とともに出展。エコロジックをテーマにした各種製品を提案した。同グループはマルダイ家具部及び協力業者で構成され、今回はSNC、レスト、牧野工匠、ワン・ハンドの4社とともに出展。エコロジックをテーマにした各種製品を提案した。

同グループはマルダイ家具部及び協力業者で構成され、今回はSNC、レスト、牧野工匠、ワン・ハンドの4社とともに出展。エコロジックをテーマにした各種製品を提案した。

ダイのプレカット工場から排出されるカラ松製ラージ合板及び松柱の端材をリサイクル活用したダイニングテーブルとベンチを発表し、来場者の高い関心を呼んだ。このほか再生古紙パネルを使用した什器、高耐久・高耐水フ

器、高耐久・高耐水フエノール樹脂パネルを使用した家具や建築設備のPRが行われた。マルダイ家具部では、住宅資材供給の「環境として寸法対応を図ったオリジナル家具の製作・供給を協力加工業者とともに進めてお

り、今後同様のイベントについては、「ニーズ動向を把握するため、SnetCグループとして出展していきたい」（マルダイ家具部の鈴木肇部長）としている。